

テーマ：『 みんなでつくろう 自然がいっぱい 仲良く笑顔で楽しい 座間小 』

座間市立 座間小学校

Tel. 046-251-0009 担 当 瀬々 洋一

者：



■実践内容：

座間小学校では、児童会が中心となり、花いっぱい運動を展開しました。さらに、環境委員会が中心となって、ペットボトルのふたや空き缶のプルトップ集めをしました。花いっぱい運動では、代表委員や各クラスの実行委員とともに座間小学校にたくさん花を植えていきました。その際、地域の方に来ていただき、土作りを一緒に行いました。学校の給食室からでた生ゴミを有機肥料にかえ、土に混ぜるなど、環境に配慮した取り組みをしました。また、「心と環境プロジェクト」と題し、子どもたちの命を大切にする心、人を思いやる心、地球にやさしくしようとする心を育もうと、教職員・保護者を対象にシンガーソングライター・絵本作家のこんのひとみさんをお呼びしてトークおよびコンサートを開きました。またユネスコハウスや板橋区立エコポリスセンター、東芝科学エネルギー館などの施設に行き、研修を行い、環境を守り、環境を大切にする取り組みや理念を指導者が学んできました。

■実践成果：

花いっぱい運動では、給食室の生ゴミからできた肥料を使うことにより、ゴミを減らす取り組みの大切さ、自然に還るものの有効性を子どもたちが肌で感じていました。また、植物を育てる大変さや花の美しさに心動かされ、さらに卒業式に育てた花をかざり、卒業生に喜んでもらったことに感動していました。研修を通して、教師が学んだ、環境に対する取り組みや活動・実践している人たちや企業の理念は子どもたちに伝えられ、子どもたちの取り組みにも拍車がかかりました。ペットボトルのふたを集め、それが建築資材になり、さらにはそのお金でワクチンを買うということ、プルトップを集めそれが車椅子になること。ゴミを減らし、環境にもよく、人の役にもたつということで、意欲的に取り組みました。ペットボトルのふたは、環境委員会の呼びかけに児童が奮起し、100 kg近く集まり、その様子は地元タウン紙でも紹介されました。たくさん集まって成果がでたことに加え、自分たちひとりひとりが環境のため人のために行動できたということに大きな喜びを感じていました。こんのひとみさんのトークおよびコンサートの様子は子どもたちにも伝えられ、まわりのものすべてに思いやりをもって接することの大切さを感じました。

■実践ポイント：

環境を大切にするといっても大切なのはそれを行う人の心です。指導者である教師がこんのひとみさんから学んだ命を大切にする心、人を思いやる心、地球にやさしくしようとする心を、また研修で学んできた環境に対する取り組みやその理念を伝え続けていきました。その中での花いっぱい運動や、ペットボトルのふた、プルトップ集めで、子どもたちは様々なことに感動し、環境のため、人のため行動する喜びを感じました。